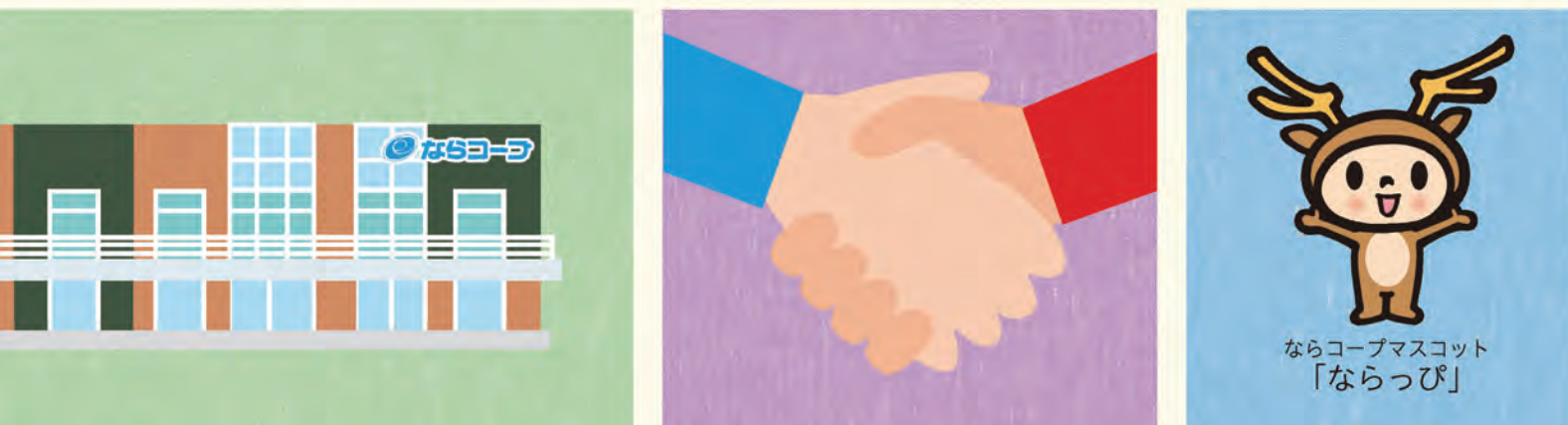


100年続く生協に向けて CSRレポート 2018

2017年度 社会的活動報告書 ダイジェスト版
2017.4.1 ~ 2018.3.31



安心してらせる地域づくりのために、 ともに地域での協同をすすめていきます

ならコープ第11次中期計画の中核年となる2017年度の到達点については、組合員数27万4,149人、出資金残高101億6,775万円、供給高388億8,735万円、経常剰余金4億6,366万円と増収増益とすることができました。組合員の皆さま、奈良県をはじめとする行政と各自治体の皆さま、全国各地の生協仲間の皆さま、共栄会を中心としたお取引先各社の皆さまのご指導、ご支援、ご協力によるものです。心より感謝申し上げます。

これまでのならコープの取り組みは、「消費者市民社会」＝「一人ひとりの消費者が公正かつ持続可能な社会の形成に積極的に参画する社会」づくりにつながっていく一歩一歩となっています。2018年度は、ならコープ第12次中期計画を策定し、今後の発展に向けてSDGsを学び”2030年ビジョン”づくりにも取り組めます。

まずは、2017年度CSRレポートを読んでいただき、皆さまがたの意傳のないご意見をお聞かせください。100年続く生協をめざし、これからも誠意をつくってがんばってまいります。



代表理事 理事長
中野 素子

2018年5月
理事長 中野 素子

ならコープ概要 (2018.3.31 現在)

名称	市民生活協同組合ならコープ	供給高	388億 8,735万円 (前年比100.6%)
本部	〒630-8503 奈良市恋の窪一丁目2番2号	うち	無店舗事業 274億1,068万円(前年比99.3%) 店舗事業 114億7,531万円(前年比103.9%)
創立総会	1974年7月25日	組合員数	274,149人 (前年比101.5%)
職員数	1,646人(総合299人、専任121人、定時職員1,226人 (内、障がい者雇用人数31人))	出資金	101億 6,775万円 (前年比102.1%)
施設数	本部1 支所(配送センター)4 店舗11 吉野事業所1 田原本物流センター1	組合員加入率	46.4%
子法人等	㈱奈良コープ産業 ㈱CWS ㈱ハートフルコープなら ㈱ハートフルコープよしの ㈱コープエナジーなら		

ならコープとSDGs



国連は、2015年持続可能な開発目標 (SDGs) で「誰一人取り残さない」ことを宣言しました。これは、2030年までに人々の暮らしに関わる幅広い課題に、全世界で取り組むことを決めたものです。17ゴールの視点からこれまでの生協の事業・活動を見た場合、すべての目標に何らかの関わりを持って活動してきたことが分かります。

ならコープでは、環境経営のトップランナーとして「環境」を主軸におき、「エシカル消費」や「安心してらせる地域づくり」「リサイクル・マイバッグ運動」などの側面から持続可能な社会・自然共生社会・循環型社会の形成をめざします。

ならコープCSRレポートの詳しい情報は、ホームページで詳しくご紹介しています。
<https://www.naracoop.or.jp/csr/>



ならコープが大切にしている3つのこと

1 食の安全

安心・安全でおいしい商品を届けます

- 微生物検査 12,209件
理化学検査 4,753件
- 取引先点検 (品質保証部門) 61社70回
- 組合員による産地・工場見学 (点検活動) 32社 1,001人参加
- 産地・工場 店舗表示点検 (コープウォッチャー) 11店舗 498回の点検
- 産直・独自開発商品 117品目
- 組合員と開発した商品の供給点数 7,686点

■組合員とともに点検
組合員とともに7つの産地・取引先を訪れ、商品の生産工程や管理状況を確認します。のべ18人の組合員とともに意見交換をおこない、より安心な商品づくりに取り組みました。

■ならハサップの取り組み
ならコープと(公社)奈良県食品衛生協会の協力のもと設立した「特定非営利活動法人奈良県HACCP研究会」によるさまざまなHACCP関係の研修会等を開催。県内の食品安全の向上に努めています。

■ならコープの産直 (産地直結)
●「よりおいしく」「より安く」「より安心」
組合員と生産者・生産者組織が、よりよい生鮮品などの供給を通じて、お互いの生活向上をめざす「産地直結」の産消提携運動を展開しています。
●産直商品の生産者の想い、組合員の願いを直接交流する場として生産者と組合員による産直交流会を開催しました。(協力25団体 176人の参加)

■mamatocoプロジェクト (子育て層向け商品開発会議)
2014年より組合員と取り組むmamatocoプロジェクトは、第4弾の開発商品「ぶちっちょーごっこ(ごはんのおもだち)」を7月1日から案内を開始。年度末までに7,686品の利用がありました。

2 社会貢献

さまざまな応援・支援活動をおこなっています

■福島の子供も養育プロジェクト in なら
11家族35人が参加 (うち子ども20人)

■東北応援バス
2012年～2017年ならコープのべ参加人数 769人

■商品の利用を通じた応援
利用点数..... 26,787点

■東日本大震災目的別募金 310万8,278円

■九州北部大雨災害緊急募金 439万2,092円

■福島の子ども養育プロジェクト in なら
2017年で、6回目の開催となりました。福島の子もたちとその家族をケアする取り組みとして、夏休み期間中に奈良に迎え、のびのびと外遊等を楽しんでいただきました。

■「桜ライン311」へのボランティア参加..... 28人
「桜ライン311」は東日本大震災で津波が到達した地点に桜の苗木を植樹し、再び大地震が発生した際、この地点より高台に避難することを後世に伝え続ける活動です。12月に組合員や職員らがこの活動に参加し、植樹しました。

■「利用して応援」企画として、被災地に生産拠点を持つ企業の商品を宅配カタログで案内するとともに、店頭で被災地生産商品の宣伝販売に取り組み、組合員・生産者との商品を通じた交流を深めました。

■ユニセフ募金 114万9,892円
ミャンマーの女性・子どもを支援する活動を支援しています。

■被爆者救済募金 61万4,038円
原爆被害者相談員の会を含め5団体に贈りました。

募金額(2017年度)..... 1億1,091万2,560円
募金額(2017年度)..... 8,766万7,783円

3 環境保護

豊かな自然と文化を守ります

地球温暖化防止と再生可能エネルギーの普及

- CO₂排出量削減 8,711t CO₂ (前年比▲119t)
- つくる総発電量 4,702,042kWh (事業で使用する電力量の24.5%)
- 減らす CO₂ゼロの電気506,003kWhをつくり、同量の省エネ効果がありました。また(一財)再生協同基金とともに組合員のくらしのなかでの省エネに取り組みました。
- 自立する 7月、ならコープグループで支援してきたつくば発電所(東吉野村)が発電開始。エネルギーの地産地消がすすみました。

生物多様性の保全および持続可能な利用

食べる“なら”大和商品 供給高 9億4,700万円

地産地消商品のブランドとして、JAならけんとならコープが一緒に取り組む県内農産物や、県内農産物を主な原料とした加工食品を案内しています。

■エコマーク商品
環境配慮素材の採用・ごみ削減を積極的にこなしている商品です。

■レインフォレストアライアンス認証商品
持続可能な農業を営む農園で育てられた商品です。

■FSC認証商品
適切に管理された森林資源で作られた商品(パッケージ含む)です。

■MSC認証商品
持続可能な漁業で獲られた水産物です。

循環型社会の形成

共同購入カタログリサイクル実績 3,266,970kg (前年比+3,980kg)

■廃棄物の削減・リサイクル

生ごみ排出量 403,069kg (前年比0.5%減)

事業系廃棄物 542,510kg (前年比0.9%減)

リサイクル実績

段ボール 834,100kg (前年比117.3%)

OCR 注文書・古紙 124,200kg (前年比87.6%)

PET ボトル 86,200kg (前年比88.3%)

■用紙:適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
■インキ:大豆インキを含む植物インキ
■印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷
■製造、廃棄に発生するCO₂をカーボンオフセット
■CO₂排出量:92.4g/部

市民生活協同組合ならコープ
〒630-8503 奈良市恋の窪一丁目2番2号
TEL 0742-34-8735 / FAX 0742-88-6170
ホームページ <http://www.naracoop.or.jp/>



100年続く生協に向けて



新店舗の出店

ならコープ with ローソン真美ヶ丘店
・ならコープ with ローソン真美ヶ丘店
・コープ七条
末永く地域でご利用いただける店舗づくりをすすめます。

夕食宅配

1日あたりの食数平均……
約3,867食

組合員、メーカーと一緒にメニュー開発や食味改善をすすめ、新たに「健康管理食」の取り扱いを開始しました。利用者の要望を受けて、2018年には品数を減らし主菜を充実した「少量おかず」の取り扱いを開始します。

行政との見守り協定

行政と連携した見守り協定は、奈良県、奈良市をはじめとする20の自治体で覚書を締結しています。

各行政との災害物資協定

40 自治体と締結

「災害時における緊急支援物資協定」を、県を含むすべての自治体と締結しています。

いこいこシニアデー

登録数……
25,051人
(前年比 +2,478人)

いこいこシニアデーの登録者店舗利用者数の約**30.0%**
店舗供給高の約**40.0%**

毎月15日に65歳以上の組合員を対象にお買い上げ金額(本体価格)から5%割引が受けられるサービスで、シニアの方々に高い支持を得ています。

コープあったか便移動店舗

1週間の運行停留所……
125箇所

1号車、2号車に引き続き3号車の運行を開始し、運行エリアを広げました。移動店舗車への期待が高いことから4号車の導入を検討しています。

買い物事業での連携

(一社)かわかみらいふとの協業をすすめる

利用者数(週あたり)
93人
(年間)……**4,844人**

川上村内での雇用とサービスの創出と交流の場づくりを目的とし、同法人との協業をすすめ、商品の配達だけでなくさまざまな住民サービスを展開しています。

社会福祉法人協同福祉会との連携

施設数………**19** 事業所

5月、桜井市に「あすならホーム桜井」が開設され、県内で19施設となりました。特別養護老人ホームあすなら苑が実践する「10の基本ケア」を「生協10の自立支援ケア」として全国の生協に広めています。また、こども食堂やついで場時習館の運営にも取り組み、幅広い世代への福祉に取り組んでいます。

コープあったか便

1日あたりお届け件数……**300件**

組合員がならコープを利用し続けられるように、お買上商品の配達、買物代行などで買い物困難者を支援しています。

コープたすけあいの会

2017年度のべ利用件数………
1,086件

組合員同士が協力しあって有償でたすけあい活動をおこなっています。家事支援、産前産後、子育て支援などさまざまな場面で役立っています。

奈良こども食堂ネットワーク

注文キャンセル品や交換予備品のお米(2,108kg)をこども食堂や地域のサロンに提供するなど、子どもの貧困問題と食品ロスの両面から課題に取り組んでいます。

奈良県医療福祉生活協同組合との連携

組合員対象の健康チェック・健康講座「いきいき健康づくりデー」年間**33**回実施
健康に関する学習会**86**回開催(前年103回)
のべ**1,967**人(前年2,288人)参加
さまざまな方面から組合員の健康づくりを支えます。

すくすくパス

登録人数………
3,537人
(前年比+203人)

0歳から3歳誕生月を迎えるまでの子どもがいる家庭、18歳未満の子どもが3人以上いる世帯の方を対象に店舗で「すくすくパス」を発行し、割引などで支援をおこなっています。

ひよこ割引

登録人数(宅配カタログ発行)
11,597人

2017年度新規加入組合員のうち、**1,801人**が登録

母子手帳発行後子どもが満6歳の誕生日までの期間、こまどり便の個配システム利用料金を割引し、個配利用料金(80円+税)のみで利用できる制度です。

子育て

子育てひろば参加者数(年間)
1,166組の親子
のべ**2,400**人

(開催場所)
・ディアスコープいこま・コープ学園前
・ディアスコープたつたがわ
・コープみみし・あすなら保育園

預かり保育「キッズルーム」た〜たん
子どものあずかり保育人数…のべ**755**人
保育のべ活動時間………のべ**535**時間

平和の取り組み

ヒバクシャ国際署名……
18,004筆

機関紙や学習会などで広く署名への賛同を呼びかけ、奈良県生活協同組合連合会のもとでの集約は2万筆を超えました。



第11次中期計画(2016~2018年度)でめざしていること

1. 多数者生協の実現をめざし「たすけあい・ささえあい・わかちあい」がひろがり、組合員や地域の人たちが安心してらせる地域づくりをめざします。店舗事業、無店舗事業はそれぞれの役割を發揮し、既存の考え方にとらわれず、組合員や地域の人たちのくらしの変化に対応し続けます。
2. 人口減少と少子高齢化社会が一層すすむ中、高齢者や小家族・少子社会への対応を強化するために奈良県行政や各自治体、諸団体、企業などとの連携・協働を深め、事業とサービスの領域をさらに拡大し、県内における小売シェアを高め続けます。
3. 「消費者“市民”社会づくり」、「100年続く生協」をめざして第10次中期計画で実行した戦略投資を土台に、組合員の願いを実現するために「自ら行動できる人材の育成と確保」に引き続き取り組みます。また、これらを支える経営基盤の強化を図ります。

事業と活動の担い手づくり



組合員・職員の学びの場づくり

誰もが安心して豊かにくらすことができる社会の実現に向け、食をはじめ、環境、福祉、平和などのさまざまな社会問題について、組合員・職員がともに学ぶ場を提供し続けていきます。

組合員のつよい参加人数
3,083人

多様な人材の登用

ならコープ(株) ハートフルコープなら
障がい者雇用率
4.36%
(法定雇用率 2.0%)

障がい者雇用の他にも、高齢者雇用や第二新卒の採用、柔軟な就労形態の実現に向け、取り組みました。

男女共同参画の取り組み

職員が仕事と家庭を両立できるように、多様な視点から男女共同参画に取り組んでいます。

幹部職員、育児休業中の職員、組合員理事を対象に、男女共同参画学習会を開催しました。

次世代育成支援

(仕事と子育ての両立支援)

子ども参観日………
職員………**21**人と
子ども**27**人が参加

子どもたちが親の働く姿や職場を見て親の仕事を知る機会となりました。

男性職員………**2**人が育児休業を取得
女性職員………**8**人

フードドライブの取り組み

3月に生駒市と連携して開催されたフードドライブに西奈良支所から食料品を寄贈しました。食品ロスの削減など、環境視点からも関心が広がっています。

マイバッグ運動

マイバッグ持参率………**94.1%**

コープなんごうではマイバッグデザインコンテストを開催。マイバッグ運動の推進に活用しました。

環境測定活動

報告者………
279人
(前年より+4人)

1992年から26年連続で、県内各地での酸性雨、河川、大気の測定を実施しました。

環境月間の取り組み

毎年6月を環境月間とし、事業における節電の取り組みや、SDGs学習会の開催、組合員とともにすすめるエコ活動などに取り組みました。

環境保全活動団体への助成

レジ袋代金の一部を環境保全活動団体への助成金として活用しています。

2017年度実績……
24団体へ
96万円を助成
累計助成金額(2005年~2017年)
1,098万円

「アースデー2017inなら」

飛鳥石舞台地区会場(45団体出展)
2,300人参加

生駒市西畑町 菜の花まつり会場
330人参加

環境問題を自ら考え行動する日として、1990年から組合員とともに取り組んでいます。

菜の花エコプロジェクト

使用済み天ぷら油回収活動には、
のべ**1,712**人参加
4,142ℓ回収

10,869kg -CO₂排出量削減に効果

「菜の花クラブ」による
菜種の栽培・収穫
のべ**282**人参加
菜種収穫量 **33.5**kg

家庭でのくらし方見直し活動

・アースデー2017 in なら
・オールド冷蔵庫コンテスト
・「やっぱエコやねん!」
・エネルギーを分け合う社会実験説明会
・(一財)再エネ協会の再エネふれんず
・菜の花くらぶ使用済み天ぷら油回収
・ならコープでんき契約組合員数
・(一財)再エネ協会の省エネ・再エネ学習会
・(一財)再エネ協会の助成事業申請者

参加者
のべ**13,591**人

組合員参加型の取り組みで、エコについて考える機会を設けました。

電気使用量の削減

19,189,564kWh
(前年比102.5%)

新店舗の出店により電気使用量は増加しましたが、冷蔵・冷凍ケースは自然(CO₂)冷媒を使用し、フロンガス漏洩による温室効果ガス排出影響を最小限に抑えています。

車両燃料使用量の削減

ガソリン使用量 **81,365**ℓ
(前年比85.1%)

電気自動車の増車により大幅に削減することができました。50台の電気自動車を各事業所に配置することで、災害時の非常用電源としても活用します。

ならコープでんき

ならコープ子会社の(株)CWSによる「ならコープでんき」供給を4月から開始し、4,916地点に電気供給しています。

再エネ率………**49%**

ならコープでんき
Powered by CWS